

会議結果のお知らせ

令和5年度第4回宮古市地域公共交通会議を、次のとおり開催しました。

令和6年2月9日

宮古市地域公共交通会議

- 1 開催日時
令和6年1月29日（月）午後1時45分から午後2時45分
- 2 開催場所
宮古市役所3階 入札室
- 3 議題
 - (1) 協議事項
 - ア 宮古市地域公共交通利便増進実施計画（案）について
 - イ 自家用有償旅客運送（門馬地域共助型交通）の登録申請について
 - ウ 岩手県北自動車「田の浜線」の見直しについて
 - (2) 報告事項
 - ア 宮古駅のバリアフリー化の進捗について
- 4 会議の概要
今年度新たに策定する「宮古市地域公共交通利便増進実施計画（案）」について概要を説明し、合意された。
令和6年4月から運行開始予定の門馬地域共助型交通について、運行開始に必要な登録申請資料等について説明し、合意された。
今年度新たに策定する「宮古市地域公共交通計画」案及び「宮古市地域公共交通利便増進実施計画」策定方針について概要を説明し、合意された。
宮古市と山田町間を運行する「田の浜線」の減便について、運行会社である岩手県北自動車株式会社から内容を説明し、合意された。
詳細は、別添議事録のとおり。
- 5 問い合わせ先
宮古市地域公共交通会議事務局 宮古市企画部公共交通推進課
電話0193-62-2111 内線4512

令和5年度第4回宮古市地域公共交通会議議事録

- 1 開催日時
令和6年1月29日（月）午後1時45分から午後2時45分
- 2 開催場所
宮古市役所3階 入札室
- 3 出席委員
多田康（会長）、佐々木隆文、田頭勇人、三浦芳範、松野文一、鈴木一成、川崎利治、久保田容子、久保田香奈枝、長鈴秀夫、竹林孝也、村林真悟、中村三樹彦、赤石広秋、西村貴之、去石一良、大村学、伊東友和、村上早紀子
- 4 事務局等出席者
（宮古市）公共交通推進課 公共交通推進課長・吉濱賢寿
公共交通推進係長・根市昇、主事・濱田隼輝
（岩手県北自動車株式会社）営業部乗合事業部 部長 八木澤健
- 5 傍聴者
なし
- 6 議事等
 - （1）協議事項ア 宮古市地域公共交通利便増進実施計画（案）について
事務局より資料1に基づき説明。宮古市地域公共交通利便増進実施計画（案）について、質疑等はなく、了承された。
 - （2）協議事項イ 自家用有償旅客運送（門馬地域共助型交通）の登録申請について
事務局より資料2に基づき説明。自家用有償旅客運送（門馬地域共助型交通）の登録申請について合意された。
質疑等は下記のとおり。

質問・意見	回答
（委員） ・運行主体である門馬地域送迎チームが加入する保険の詳細について教えて欲しい。	（事務局） ・損保ジャパン日本興亜株式会社の保険に加入する予定。出庫から入庫までを保証するものであり、1日あたり約1000円程度のもの。
（委員） ・運賃と比較し、保険料が高くなることあるのではないか。	（事務局） ・1日あたりの運行回数が少なければ、運賃収入よりも保険料が高くなることも考えられる。 地域としては、国庫補助と市補助を財源に継続していきたいという意向であり、支援していきたい。

<p>(委員) ・運行終了後もアルコールチェッカーによる確認が必要であり、留意頂きたい。</p> <p>(委員) ・現在の運行形態として、ドアツードアでの輸送を実施しているか。</p> <p>(委員) ・予約受付時間は決まっているか。有償運送に転換後も任意団体のままやっていくか。</p>	<p>(事務局) ・ご認識の通り。積雪等の影響により、ドアツードアでの輸送が困難であることもある。運用の中で臨機応変に対応していく。</p> <p>(事務局) ・平日の予約は門馬出張所で受付を行う。休日は会長の携帯電話で7時～20時の間受付を行い、会長からドライバーに連絡する。基本的には前日受付だが、当日予約も運転手の兼ね合いが合えば輸送する。 今後も任意団体として活動していく予定。</p>
--	---

(3) 協議事項ウ 岩手県北自動車「田の浜線」の見直しについて
 岩手県北自動車株式会社より資料3に基づき説明。田の浜線の見直しについて合意された。質疑等は下記のとおり。

質問・意見	回答
<p>(委員) ・山田町の地域公共交通会議でも同様の協議は行うか。</p> <p>(委員) ・運転手の待遇改善のために減便を行うとのことだが、山田→宮古の便は14時台である。昼の減便について理由を伺う。</p>	<p>(岩手県北自動車株式会社) ・同様の説明を実施する。山田町の公共交通会議よりも本会議の開催時期が早かったため、先にお諮りしたもの。</p> <p>(岩手県北自動車株式会社) ・当該路線は国の補助金を頂きながら運行している。輸送量が少ない場合、補助金の減額されてしまう。当該ダイヤの便は乗客が極端に少なく、補助金の減額を防ぐための減便である。</p> <p>(委員) ・田の浜線において、バス運転手は宮古→山田を往路とし、山田→宮古に戻る便を復路としている。なるべく回送が無いよう、効率的な運行に努めているところ。宮古→山田の便のみを減便すると、復路が回送となってしまう、効率的な輸送とはならないことから、山田→宮古の利用が少ない便を減便したいもの。</p>

(4) 報告事項ア 宮古駅のバリアフリー化の進捗について
 事務局より資料4にのとおりに説明。加えて、2月4日から区界で開催される「区界高原雪のゆうえんち」について情報提供し、周知及び参加を呼び掛けた。質疑等無し。